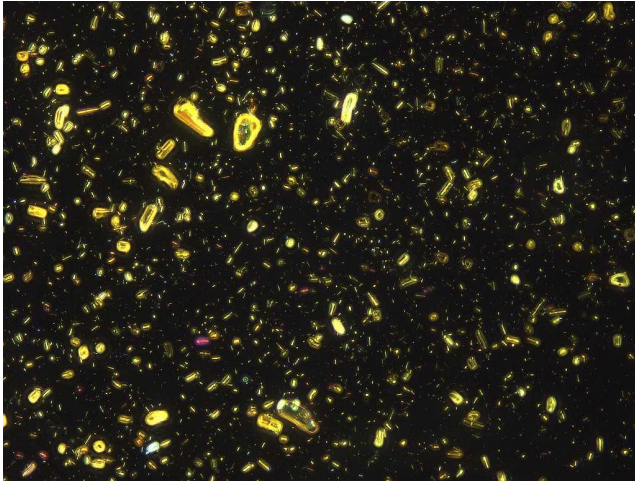


石綿標準試料分散染色法写真 (参考データ 2)

トレモライト(Tremolite)

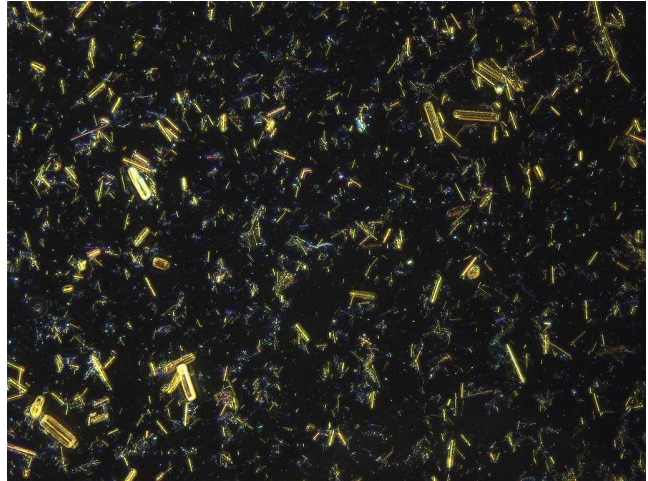
$n_D=1.605$ (×100)



※屈折率 $n_D=1.605$ で橙色に分散色を呈す。

アンソフィライト(Anthophyllite)

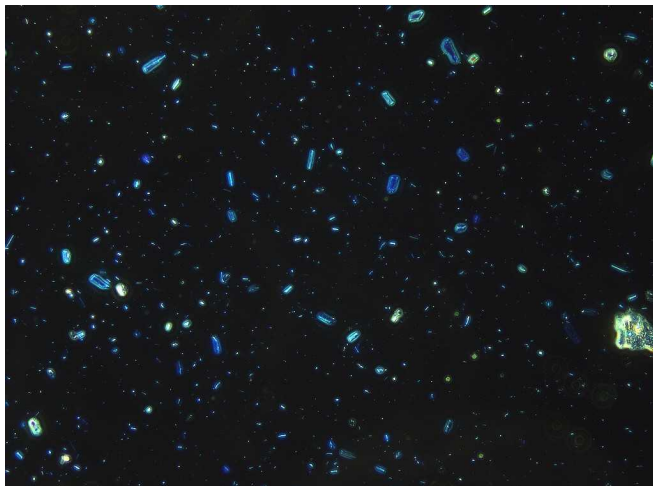
$n_D=1.605$ (×100)



※屈折率 $n_D=1.605$ で橙色に分散色を呈す。

トレモライト(Tremolite)

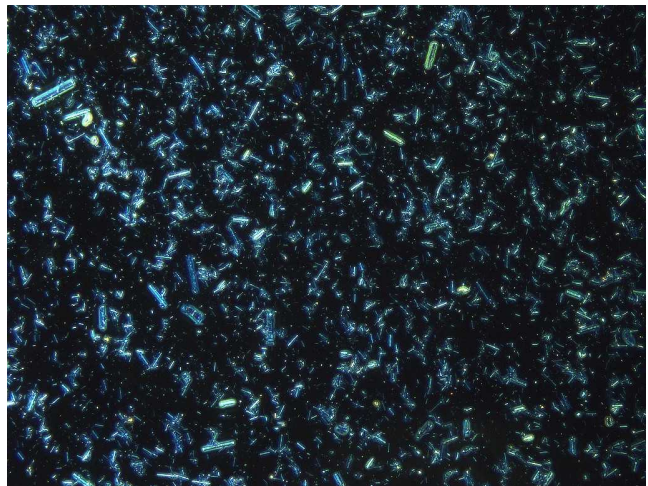
$n_D=1.640$ (×100)



※屈折率 $n_D=1.640$ で青色に分散色を呈す。

アンソフィライト(Anthophyllite)

$n_D=1.640$ (×100)



※屈折率 $n_D=1.640$ で青色に分散色を呈す。

備考 : 分散とは、光が波長によりスペクトルに分解することをいい、アスベスト繊維の分散は液体の分散よりも小さいため、一定の屈折率をもつ液中では、特定の特異的なスペクトル(合成色)が観察できる。これを分散色と呼び、屈折率 $n_D=1.550$ ではクリソタイルが赤紫色～青色に、屈折率 $n_D=1.700$ でアモサイトとクロシドライトが青色に、屈折率 $n_D=1.680$ ではアモサイトが桃色、クロシドライトは橙色に分散色を呈す。トレモライト及びアンソフィライトは1.605で橙色、1.640で青色を呈するが消光角の違いから判定する。